

第8章 芸術・文化

第8章 芸術・文化

第1節 文化芸術の振興

1 芸術文化鑑賞機会提供事業

文化庁や文化財団、市町村教育委員会及び学校等との共催により、児童生徒の豊かな感性を育むとともに、本県芸術文化の振興を図ることを目的とする。児童生徒や一般県民に我が国の優れた舞台芸術等を鑑賞する機会を提供するとともに、団体等との共演に参加したりするなど、児童生徒の文化活動の充実・発展をめざし下記の事業を実施した。

(1) 学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業（文化庁提供事業）

① 学校巡回公演

全国の小学校・中学校等においてトップレベルの文化芸術団体による巡回公演であり、ワークショップでは、子供たちに実演指導、または鑑賞指導を行った。

開催校：12校

那覇市立真和志小学校	那覇市立曙小学校	那覇市立垣花小学校
糸満市立潮平小学校	糸満市立米須小学校	沖縄市立越来小学校
名護市立真喜屋小学校	本部町立上本部小学校	竹富町立黒島小学校
石垣市立吉原小学校	宮古島市立南小学校	沖縄県立西崎特別支援学校

② 芸術家の派遣事業〈学校申請方式〉

個人または少人数の芸術家による講話や実技披露、実技指導を実施する。また、ワークショップ等の実技指導を行うことで、日頃触れることのできない貴重な体験をし、芸術を身近なものと感じることができる。

開催校：17校

那覇市立城北小学校	那覇市立若狭小学校	那覇市立若狭小学校
うるま市立天願小学校	中城村立中城南小学校	金武町立嘉芸小学校
金武町立中川小学校	名護市立東江小学校	名護市立久辺小学校
大宜味村立大宜味小学校	石垣市立宮良小学校	石垣市立伊野田小学校
宮古島市立砂川小学校	石垣市立石垣第二中学校	沖縄県立沖縄盲学校
沖縄県立八重山特別支援学校	沖縄県立那覇特別支援学校	

③ コミュニケーション能力向上事業

芸術家を学校に派遣し、芸術家の表現手法を取り入れた計画的・継続的なワークショップを実施する。

開催校：5校

北谷町立北玉小学校	南城市立知念小学校	南城市立久高小学校
那覇市立松島中学校	うるま市立具志川東中学校	

④ ユニバーサル公演事業

子供たちの豊かな創造力・想像力や思考力、コミュニケーション能力などを養う。

開催校：1校

沖縄県立那覇みらい支援学校



2 学校文化団体の育成・支援

本県中・高等学校における文化活動の統括をしている沖縄県高等学校文化連盟及び沖縄県中学校文化連盟を支援し、学校における文化活動の活性化を図っている。

(1) 沖縄県高等学校文化連盟

① 第48回全国高等学校総合文化祭岐阜大会

開催期間： 令和6年7月31日～8月5日 6日間

開催場所： 岐阜県（13市2町）

参加部門： 15部門

（総合開会式、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、郷土芸能、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、弁論、自然科学、小倉百人一首かるた、文芸、軽音楽）

本県参加生徒： 252名（舞台発表、作品出品等での参加含む）

<主な成績>

郷土芸能部門： 県立八重山高等学校 郷土芸能部 優秀賞（文化庁長官賞）

県立南風原高等学校 郷土芸能部 優良賞

将棋部門： 県立那覇国際高等学校2年 邊土名朝陽 準優勝（文化庁長官賞）

弁論部門： 県立豊見城高等学校3年 上間真奈美 優秀賞

美術・工芸部門： 県立開邦高等学校3年 平良優芽 奨励賞

書道部門： 県立小禄高等学校3年 上原如季 奨励賞（読売新聞社賞）

② 第8回全九州高等学校総合文化祭福岡大会

開催期間： 令和6年12月13日～12月15日（吹奏楽のみ令和7年2月1日・2日）

開催場所： 福岡県（2市）

参加部門： 9部門

（美術・工芸、書道、写真、弁論、囲碁、放送、文芸、小倉百人一首かるた、吹奏楽）

本県参加生徒： 9部門 27校 165名参加

<主な成績>

文芸部門： （俳句部門）具志川高等学校1年 伊志嶺菰子 最優秀賞

書道部門： 八重山高等学校2年 當銘平理 第二席

写真部門： 浦添工業高等学校2年 外間美桜 作品展優秀賞

美来工科高等学校2年 宮城芽唯 撮影大会金賞

囲碁部門： 開邦高等学校 男子団体戦3位入賞

③ 第48回沖縄県高等学校総合文化祭

大会テーマ： 「紡がれる創造の螺旋 津梁の鐘を響かせ 幾重の波を越えてゆけ」

開催期間： 令和6年9月10日～11月13日

開催場所： 琉球新報ホール（総合開会式）他10会場

開催部門： 19部門（総参加人数：4,000人、総合開会式参加者：187人）



幕開け：かぎやで風（総合開会式）



茶・華道部門：呈茶席

(2) 沖縄県中学校文化連盟

① 第30回沖縄県中学校総合文化祭

大会テーマ： 「つなぎ続けて30年 継がれたウミイと新たな風を 美ら島に」

期日及び場所： 令和6年12月7日～12月8日 アイム・ユニバースてだこホール

参加状況： 舞台部門：67校 1,064人（琉球舞踊、郷土芸能、合唱、吹奏楽、マーチング、リコーダー、演劇、バンド、ダンス等、33演目）

演劇部門：4校 40人

展示部門：3,118点（書道・文芸・美術・技術家庭科・科学・NIE・特別支援等、12分野）



幕開け 歌三線合奏



大浜中 郷土芸能



神森中 ダンス



港川中 リコーダー



竹富中 英語スキット



長嶺中 琉球舞踊



川平中 郷土芸能



読谷・古堅・嘉手納・桑江中（合同）
郷土芸能



昭和薬科大附属中 演劇



茶道



展示作品



② 第30回沖縄県特別支援学校中学部総合文化祭

大会テーマ： 「輝やけ新時代 夢をえがこう 私たちの未来」

期日及び場所： 令和6年7月23日～7月26日 沖縄県総合福祉センター

参加状況： 生徒作品点数654点、会場参観者542人、WEB閲覧者数1,866アクセス



沖縄盲学校



八重山特別支援学校

第2節 文化財の保護

1 県文化財保護審議会 ※◎印は審議会長、○印は同代行を示す。

(1) 県文化財保護審議会

〔任期：令和6年8月1日～令和8年7月31日〕

◎上原 静	沖縄国際大学名誉教授
○宮城 邦治	沖縄国際大学名誉教授
赤嶺 政信	琉球大学名誉教授
稲福 みき子	沖縄国際大学名誉教授
上地 和夫	糸満市文化振興委員会
佐々木 健志	琉球大学博物館協力研究員
田名 真之	前沖縄県立博物館・美術館長
豊見山 和行	琉球大学名誉教授
宮里 正子	前浦添市美術館長
柳 悦州	沖縄県立芸術大学客員教授

(2) 県文化財保護審議会専門委員

〔任期：令和6年8月1日～令和8年7月31日〕

① 第1専門部会（有形文化財）

平良 啓	沖縄県建築士会会員
小林 純子	沖縄県立芸術大学教授
上江洲 安亨	一般社団法人沖縄美ら島財団首里城公園管理部事業課副参事
麻生 伸一	琉球大学教授
山城 一美	沖縄職業能力開発大学校特任教授

② 第2専門部会（史跡・名勝・埋蔵文化財）

里井 洋一	沖縄県立博物館・美術館長
波多野 想	琉球大学島嶼地域科学研究所長（教授）
後藤 雅彦	琉球大学教授
鈴木 悠	那覇市歴史博物館主任学芸員
宮城 弘樹	沖縄国際大学教授
新里 貴之	沖縄国際大学教授

③ 第3専門部会（天然記念物）

前門 晃	琉球大学名誉教授
田吹 亮一	琉球大学名誉教授
谷口 真吾	琉球大学教授
久保田 康裕	琉球大学教授
戸田 守	琉球大学熱帯生物圏研究センター准教授
千木良 芳範	元宜野湾市立博物館長

④ 第4専門部会（無形文化財）

金城 厚	沖縄県立芸術大学名誉教授
糸数 政次	浦添市美術館長
遠藤 美奈	沖縄県立芸術大学准教授
鈴木 耕太	沖縄県立芸術大学准教授
仲間 伸恵	琉球大学准教授
與那覇一子	文化庁非常勤調査員

⑤ 第5専門部会（民俗文化財）

波照間 永吉	名桜大学大学院特任教授
久万田 晋	沖縄県立芸術大学芸術文化研究所長（教授）
萩原 左人	琉球大学教授
波平 エリ子	沖縄女子短期大学准教授
稲福 政斉	沖縄大学/沖縄国際大学非常勤講師
萩尾 俊章	沖縄民俗学会会長

(3) 審議会の状況（令和6年度）

① 沖縄県文化財保護審議会第2専門部会

日 時：令和6年7月26日（金）13時～17時
場 所：県庁11階第5会議室、第32軍司令部壕
内 容：県指定史跡の指定について

② 沖縄県文化財保護審議会第4専門部会

日 時：令和6年7月29日（月）14時～16時
場 所：県庁13階 第5会議室
内 容：県指定無形文化財（工芸技術）の保持者追加認定について

③ 沖縄県文化財保護審議会第2専門部会

日 時：令和6年8月23日（金）15時～17時
場 所：沖縄県立埋蔵文化財センター会議室
内 容：県指定史跡の指定について

④ 沖縄県文化財保護審議会

日 時：令和6年8月27日（火）14時～16時
場 所：県庁13階第1会議室
内 容：県指定史跡の指定および県指定無形文化財（工芸技術）の保持者追加認定について

⑤ 沖縄県文化財保護審議会第2専門部会

日 時：令和6年11月26日（火）13時～17時
場 所：沖縄県立埋蔵文化財センター会議室
内 容：県指定史跡の指定について

⑥ 沖縄県文化財保護審議会

日 時：令和7年3月28日（金）10時～12時
場 所：県庁13階第1会議室
内 容：県指定史跡の指定について

2 文化財の指定

令和6年度に国や県に新たに指定、追加指定（追加認定）、選定、選択及び登録された文化財は、次のとおりである。※文化庁審議会答申を含む。

種 別	新規・追加	名 称	指定等年月日
国指定重要文化財（工芸品）	追加認定	金銅雲龍文簪	令和6年8月27日
県指定無形文化財（芸能）	追加認定	沖縄伝統音楽野村流 沖縄伝統音楽安富祖流 沖縄伝統音楽箏曲	令和6年8月30日
国指定重要無形文化財（工芸技術）	新規指定（各個認定）	八重山上布	令和6年10月9日
国選定保存技術	新規指定（各個認定）	屋根瓦製作（琉球瓦）	令和6年10月9日
県指定無形文化財	追加認定	本場首里の織物	令和6年11月15日
県指定史跡	新規指定	第32軍司令部壕（首里司令部壕跡）	令和6年11月29日
国指定史跡	追加指定	北谷城跡	令和7年3月10日

3 指定文化財管理

(1) 国指定文化財管理事業（事業主体：沖縄県）

（単位：千円）

文化財の種別	名称	市町村	所有者	令和6年度
国指定重要文化財	中村家住宅	北中城村	中村 国宏	418
	上江洲家住	久米島町	上江洲 智一	482
	石垣氏庭園	石垣市	石垣 長敏	130
	仲村渠樋川	南城市	仲村渠区	156
合 計				1,186
事業費合計		国庫補助額		295
		県補助額		298
		市町村及び所有者負担額		593

4 戦災文化財の復元整備

県教育委員会では、戦災により失われた文化財を復元整備し、往時の景観を回復する事業を展開しており、首里城城郭等の復元整備事業は、昭和47年度に着手して平成13年度に完了した。これに続き、平成14年度から円覚寺跡の保存整備事業を実施しており、令和9年度末を目処に三門の復元を行う予定である。本事業では、令和元年度時点で整備委員会により三門の設計を検討し、その成果及び発掘調査成果を基に、現地で三門の柱を据える礎盤や山廊の基壇石列の位置出し作業を行った。

令和6年度は、三門本体1階部分の建築工事を行った。

5 文化財愛護思想の普及

(1) 文化財保護行政事務担当者研修会

日時：令和6年8月28日（水）

(2) 文化財愛護事業

① 「私たちの文化財」図画作品募集

地域に所在する文化財を題材とした図画を児童・生徒から広く募集し、入賞者の表彰と入賞作品の展示を実施した。また、文化財保護強調週間の啓発ポスターを作成し、市町村、各学校等に配付した。

ア 小学校の応募数

小学校1・2年	小学校3・4年	小学校5・6年	合 計
42点(21校)	75点(27校)	162点(26校)	279点(40校)

イ 中学校・高等学校・特別支援学校の応募数

中学校	高等学校	特別支援学校	合 計
140点(20校)	38点(12校)	0点(0校)	178点(32校)

ウ 入賞作品数

最優秀賞	優秀賞	佳作	入選	合 計
5点	10点	25点	35点	75点

エ ポスター原画に使用した最優秀作品

	作品名	部門	氏名・学校名・学年
令和5年度 最優秀作品	沖縄の獅子舞	小学生3・4年の部	濱中 凜子さん 沖縄カトリック小学校3年

6 文化財の調査

令和6年度に実施した文化財の調査は次のとおりである。

(1) 遺跡分布調査

事業名	事業総額	事業内容
遺跡詳細分布調査及び重要遺跡確認調査（文化庁国庫補助事業）	総額：393,053千円 国：314,433千円 市町村：78,620千円	埋蔵文化財の記録作成又は保存に必要な資料を得るための発掘調査及び、今後開発が予定されている地域・遺跡の整備事業に必要な確認調査ならびに詳細分布調査を実施した。

(2) 埋蔵文化財発掘調査

項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費 (千円)	主な財源
1	ヤニバマ遺物散布地	名護市	沖縄県立埋蔵文化財センター	米軍施設建設	資料整理	16,398	沖縄防衛局
2	楚辺親見原遺跡Aほか5遺跡	読谷村	沖縄県立埋蔵文化財センター	米軍施設建設	資料整理	15,080	沖縄防衛局
3	大工廻八所集落跡A地点・B地点	沖縄市	沖縄県立埋蔵文化財センター	米軍施設建設	資料整理	18,214	沖縄防衛局
4	松崎馬場跡・中城御殿跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	公園整備 歩道整備	発掘調査 資料整理	54,564	沖縄防衛局
5	湧田村跡・湧田古窯跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	危機管理センター建設	発掘調査	129,593	沖縄県
6	中城御殿跡（首里高校内）他2遺跡	那覇市	沖縄県立埋蔵文化財センター	学校建設	資料整理	20,025	沖縄県

(3) 基地内埋蔵文化財調査

事業名	事業総額	事業内容
基地内埋蔵文化財詳細分布調査（文化庁国庫補助事業）	総額：21,870千円 国：17,496千円 県：4,374千円	米軍基地内に所在する埋蔵文化財の範囲・性格・内容等を確認するため範囲確認調査を行った。

7 文化財保存整備

令和6年度に実施した文化財保存整備事業は次のとおりである。

(1) 無形文化財

① 伝承者養成事業

ア 国・県指定無形文化財

〔単位：円〕

事業名	事業主体	事業総額	国庫補助	県補助	事業主体等
喜如嘉の芭蕉布伝承者養成	喜如嘉の芭蕉布保存会	7,618,993	7,000,000	309,000	309,993
宮古上布伝承者養成	宮古上布保持団体	8,600,193	8,000,000	300,000	300,193
久米島紬伝承者養成	久米島紬保持団体	8,227,657	8,000,000	113,000	114,657
組踊伝承者養成	一般社団法人伝統組踊保存会	12,089,655	12,000,000	0	89,655
琉球舞踊伝承者養成	琉球舞踊保存会	12,254,574	8,825,000	113,000	3,316,574
琉球歌劇伝承者養成	琉球歌劇保存会	1,113,090	-	890,000	223,090
沖縄伝統音楽野村流伝承者養成	野村流保存会	412,536	-	240,000	172,536
沖縄伝統音楽安富祖流伝承者養成	安富祖流保存会	301,913	-	240,000	61,913
沖縄伝統音楽湛水流伝承者養成	湛水流保存会	62,075	-	49,000	13,075
沖縄伝統音楽箏曲伝承者養成	箏曲保存会	303,802	-	240,000	63,802
本場首里の織物伝承者養成	沖縄伝統本場首里織物保存会	345,000	-	276,000	69,000
八重山上布伝承者養成	八重山上布保存会	426,000	-	340,000	86,000
びん型伝承者養成	沖縄伝統びん型保存会	426,000	-	340,000	86,000

※事業総額は市町村補助及び個人負担分も含む。

イ 国選定保存技術

〔単位：円〕

事業名	事業主体	事業総額	国庫補助	県補助	事業主体等
苧麻糸手績技術伝承者養成	宮古苧麻績み保存会	10,611,438	10,000,000	245,000	366,438
組踊道具・衣裳製作修理技術伝承者養成	組踊道具・衣裳製作修理技術保存会	7,200,445	7,000,000	100,000	100,445
建造物琉球漆塗・琉球赤瓦製作施工文化財保存技術	沖縄美ら島財団	8,652,079	8,552,000	-	100,079

② 公開事業

ア 国・県指定無形文化財

〔単位：円〕

事業名	事業主体	事業総額	国庫補助	県補助	事業主体等
組踊特別鑑賞会	一般社団法人伝統組踊保存会	27,795,928	27,753,000	0	42,928

③ 組踊等教育普及啓発事業

「児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会」組踊・沖縄芝居ワークショップ

事業内容：児童生徒に郷土芸能への理解と若手実演家の育成を目指し、委託事業として、組踊・沖縄芝居ワークショップを3回開催した。

- 実施校：①沖縄市立諸見小学校（小学３・４・５・６年生 239 名）
②南城市立馬天小学校（小学４・５年生 132 名）
③西原町立西原中学校（中学３年生 190 名）

(2) 民俗文化財

- ① 沖縄本島及び周辺離島における民俗芸能 民俗文化財調査事業
事業主体：沖縄県教育委員会
事業目的：沖縄本島及び周辺離島における豊年祭等の祭り・行事について、その実態と特色を明らかにする悉皆調査及び詳細調査を実施し、民俗文化財の保護・活用と文化財保護施策推進、並びに地域文化の振興に資する調査報告書を刊行する。
- ② 神アサギ茅葺き屋根の葺き替え等保存修理事業（県単独補助事業）
事業主体：伊是名村
事業目的：県指定有形民俗文化財「伊是名村勢理客の神アサギ附宅地」の茅葺き屋根が腐食により崩れていたため、リュウキュウチク、竹、藁縄を用い、伝統的な工法で茅葺き屋根の葺き替えを行った。
- ③ 第 66 回九州地区民俗芸能大会派遣事業（県単独補助事業）
事業主体：首里王府阿波連路次楽御座楽保存会（那覇市）
事業内容：桜十字やつしろ（熊本県八代市）で開催された第 66 回九州地区民俗芸能大会に首里王府阿波連路次楽御座楽保存会を派遣した。

(3) 建造物

- ① 重要文化財 旧与那国家住宅 保存修理事業（竹富町）
事業種別：国庫補助事業
事業主体：竹富町
事業目的：重要文化財「旧与那国家住宅」保存修理事業
事業内容：主屋・畜舎の保存修理工事等
- ② 建造物琉球漆喰・琉球赤瓦製作施工文化財保存技術（伝承）事業
事業種別：国庫補助事業
事業主体：一般財団法人 沖縄美ら島財団
事業目的：建造物塗装及び赤瓦製造・瓦葺き技術の伝承者養成
事業内容：建造物塗装及び赤瓦製造・瓦葺き技術の養成に関する講義・実習
- ③ 竹富町 竹富島伝統的建造物群基盤強化事業（竹富町）
事業種別：国庫補助事業
事業主体：竹富町
事業目的：重要伝統的建造物保存地区における建造物等の保存修理
事業内容：保存地区内の 2 物件（2 建造物）の修理工事

8 記念物

(1) 史跡・名勝・文化的景観

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝を含む）、国登録の登録記念物、国選定の文化的景観、県指定の史跡・名勝の件数は合計 131 件（令和 7 年 5 月 1 日現在）である。令和 6 年 11 月 29 日には那覇市の「第 32 軍司令部壕（首里司令部壕跡）」が 56 件目の県指定史跡となり、令和 7 年 3 月 10 日に北谷町の「北谷城跡」の追加指定が官報告示された。今後も貴重な文化財の適切な保存・活用を図るために、指定等文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県指定文化財を中心に進めている。

令和 6 年度は史跡の「先島諸島火番盛（竹富町）」、特別名勝「識名園」で史跡等保存活用計画策定事業を実施し、うち特別名勝「識名園」は保存活用計画策定書を刊行した。

史跡「中城城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「伊礼原遺跡」、「北大東島燐鉱山遺跡」、「先島諸島火番盛（竹富町）」、「斎場御嶽」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」、「円覚寺跡」、「浦添城跡」、「具志川城跡」、「勝連城跡」、「糸数城跡」、「糸数城跡（石垣調査）」、「知念城跡」、「中城ハンタ道」及び名勝「伊江殿内庭園」、「アマミクヌムイ（越来グスク）」が「歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業」を実施した。なお、事業を令和 6 年度に繰り越しで実施した史跡「伊礼原遺跡」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」及び名勝「伊江殿内庭園」、「アマミクヌムイ（越来グスク）」は事業を完了した。

文化的景観保護推進事業は、重要文化的景観「北大東島の燐鉱山由来の文化的景観」、「今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観」を実施した。

史跡等買上事業は、史跡「佐敷城跡」で直接買上を実施した。

名勝地調査では金武町の「金武鍾乳洞」が報告書を刊行した。

その他、県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」及び県指定史跡「伊敷索城跡」、「仲間第二貝塚」では保存修理事業を実施し、県指定史跡「ミントングスク」では管理事業を実施した。

① 国庫補助事業

ア 史跡等保存活用計画策定事業

a 事業名：特別名勝「識名園」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：那覇市

事業内容：会議を 2 回実施し、刊行した。

b 事業名：史跡「先島諸島火番盛」史跡等保存活用計画策定事業

事業主体：竹富町

事業内容：会議を 2 回実施し、当該史跡が所在する市町村と協議をしながら中間報告をまとめた。

イ 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

- a 事業名：史跡「伊礼原遺跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
(繰越)

事業主体：北谷町

事業内容：南の郭北側外壁沿いの転石撤去及び遺構確認調査を実施。

- b 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」歴史活き活き！史跡
等総合活用整備事業（繰越）

事業主体：浦添市

事業内容：○普天満参詣道の植栽工事を実施した。

○中頭方西海道及び普天満参詣道整備委員会を1回実施した。

- c 事業名：名勝「伊江殿内庭園」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業
(繰越)

事業主体：那覇市

事業内容：○主庭部一部の整備及び樹木撤去工事を実施した。

○擁壁の設計業務を委託で実施した。

○伊江殿内庭園整備委員会を2回実施した。

- d 事業名：名勝「アマミクヌムイ（越来グスク）」歴史活き活き！史跡
等総合活用整備事業（繰越）

事業主体：沖縄市

事業内容：○整備全体の基本設計を委託で実施した。

○越来グスク整備委員会を2回実施した。

- e 事業名：史跡「中城城跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：中城村

事業内容：○南の郭北側外壁沿い及び西の郭西側石階段袖石積の発掘調査を実施した。

○一の郭北西隅城壁の積み直し工事及び、その実施設計・施工管理業務委託を実施した。

○発掘調査報告書刊行に向け、資料整理を実施した。

○中城城跡整備委員会を2回実施した。

- f 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」歴史活き活き！史跡等総合
活用整備事業

事業主体：今帰仁村

事業内容：○今帰仁阿応理屋恵火之神祠復元工事及び、その監理を委託で実施した。

○今帰仁城跡附シイナ城跡調査整備委員会を1回実施した。

- g 事業名：史跡「伊礼原遺跡」歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：北谷町

事業内容：○縄文の森地区一部の工事及び、その現場技術業務委託を実施した。

○サイン製作業務を委託で実施した。

○伊礼原遺跡整備委員会を1回実施した。

- h 事業名：史跡「北大東島燐鉱山遺跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：北大東村

事業内容：○遺跡保存状況調査を委託で実施した。

○ガイダンス施設の基本設計業務を委託で実施した。

○史跡重要文化的景観合同整備委員会を3回実施した。

- i 事業名：史跡「先島諸島火番盛」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：竹富町

事業内容：○鳩間中森のレーザー測量業務を委託で実施した。

○先島諸島火番盛整備委員会を2回実施した。

- j 事業名：史跡・名勝「斎場御嶽」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：南城市

事業内容：○土質調査及び排水施設整備の実施設計を委託で実施した。

○斎場御嶽整備委員会を2回実施した。

- k 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：浦添市

事業内容：○赤皿ガーの整備工事を実施した。

○中頭方西海道及び普天満参詣道整備委員会を1回実施した。

- l 事業名：史跡「円覚寺跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：沖縄県

事業内容：三門の復元工事のうち1階の建て方まで実施した。

- m 事業名：史跡「浦添城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：浦添市

事業内容：○第Ⅱ整備地区の復元整備に先立って城壁復元箇所の地質調査を委託で実施した。

○発掘調査を委託、過年度調査の資料整理を直営で実施した。

○遺物の科学分析を委託で実施した。

- n 事業名：史跡「具志川城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：久米島町

事業内容：一・二の郭の修復に向け、伐採を工事請負で実施し、測量した。

- o 事業名：史跡「勝連城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：うるま市

事業内容：○南風原御門周辺の発掘調査を実施した。

○東の曲輪整備実施計画を委託で策定し、工事車両用の仮設道路整備工事を実施した。

○勝連城跡整備委員会を3回実施した。

p 事業名：史跡「糸数城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：南城市

事業内容：○前年度に引き続き北のアザナの展望台設置工事を実施し完了した。この工事の監督支援業務は委託で実施した。

○過年度調査の資料整理を実施した。

○糸数城跡整備委員会を1回実施した。

q 事業名：史跡「糸数城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業
(石垣調査)

事業主体：南城市

事業内容：○西側崖地から南側崖地のレーザー測量と石垣カルテ作成を委託で実施した。

○正門から北のアザナの立面図を委託で作成した。

r 事業名：史跡「知念城跡」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：南城市

事業内容：○北側城壁の測量のための伐採を実施した。

○発掘調査及び過年度調査の資料整理を実施した。

○知念城跡整備委員会を1回実施した。

s 事業名：史跡「中城ハンタ道」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：中城村

事業内容：○法面の擁壁工事及び、その設計・監理業務を委託で実施した。

○遺構確認のため発掘調査を実施した。

○発掘調査報告書の発刊にむけて資料整理を実施した。

○中城ハンタ道整備委員会を2回実施した。

t 事業名：名勝「伊江殿内庭園」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業
事業主体：那覇市

事業内容：○陽刻文字の保存処理及び主庭部一部の実施設計を委託で実施した。

○伊江殿内庭園整備委員会を1回実施した。

u 事業名：名勝「アマミクヌムイ（越来グスク）」歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

事業主体：沖縄市

事業内容：○斜面地保護の実施設計を委託で実施した。

○越来グスク整備委員会を1回実施した。

ウ 文化的景観保護推進事業

a 事業名：北大東島の燐鉱山由来の文化的景観保護推進事業
事業主体：北大東村

事業経費：10,975,282円（国8,780,000円、村2,195,282円）

事業内容：○式六荘改修設計を委託で実施した。

○史跡重要文化的景観合同整備委員会を3回実施した。

- b 事業名：今帰仁村今泊のフクギ屋敷林と集落景観保護推進事業

事業主体：今帰仁村

事業内容：○集落西側のフクギ台帳作成を委託で実施した。

○住民ワークショップを実施した。

○剪定などフクギ管理を実施した。

○2軒の民家でフクギ植栽工事を実施した。

エ 史跡等土地買上事業

- a 事業名：史跡「佐敷城跡」史跡等買上（直接買上）事業

事業主体：南城市

買上実績：1,447.51 m² 5筆

オ 名勝地調査

- a 事業名：金武鍾乳洞（日秀洞）名勝調査

事業主体：金武町

事業内容：測量、文献調査、聞き取り調査をまとめた報告書を刊行した。

② 県補助事業

ア 史跡・名勝保存修理事業

- a 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業

事業主体：那覇市

事業内容：石の欠損や沈下部分を既存の石畳に準ずる工法、材質及び寸法等で保存修理を実施。

- b 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」石積み解体積み直し

事業主体：那覇市

事業内容：個人有地において、一部崩落した石積みの積み直しを実施した。

- c 事業名：県指定史跡「仲間第二貝塚」標柱建て替え

事業主体：竹富町

事業内容：標柱が傾倒し、劣化から文字の判別も難しかったことから建て替えを実施した。

- d 事業名：県指定史跡「伊敷索城跡」

事業主体：久米島町

事業内容：豪雨によって崩落した三の郭の写真測量を実施した。

イ 管理事業

- a 事業名：県指定史跡「ミントングスク」管理事業

事業主体：南城市

事業内容：当該史跡の適切な保存と活用を図るため、文化財指定地域の雑草木の除去及び清掃を実施。

(2) 天然記念物

本県における国指定の天然記念物の件数は合計57件（特別天然記念物含む）、県指定天然記念物は50件である（令和7年5月1日現在）。

令和6年度における天然記念物保存の事業は、石垣市及び那覇市で、それぞれ「平久保のヤエヤマシタン」、「首里金城の大アカギ」の再生事業を、東村で「慶佐次湾のヒルギ林」の史跡等保存活用計画策定事業が実施された。

沖縄県指定天然記念物については、恩納村で「万座毛石灰岩植物群落」の環境整備事業が実施された。

① 国庫補助事業

ア 天然記念物再生事業

a 事業名：天然記念物「平久保のヤエヤマシタン」再生事業

事業主体：石垣市

事業内容：ヤエヤマシタン及びその自生地において、害虫被害があり、放置すると枯死する可能性があるため、害虫駆除と併せて指定木の診断、周辺植生調査、ヤエヤマシタンの遺伝子解析調査を行った。

b 事業名：天然記念物「首里金城の大アカギ」再生事業

事業主体：那覇市

事業内容：樹木医による樹勢の診断を行ったところ、良好な状態ではないことが判明したことから、樹勢回復を目的に土壌改良を実施した。

イ 史跡等保存活用計画策定事業

a 事業名：天然記念物「慶佐次湾のヒルギ林」保存活用計画策定事業

事業主体：東村

事業内容：今後の保存管理の方法やヒルギ林の活用計画を策定した。

② 県補助事業

ア 環境整備事業

a 事業名：沖縄県指定天然記念物「万座毛植生」環境整備事業

事業主体：恩納村

事業内容：万座毛の本質的価値である景観や植生の維持のため、アダンの伐採・伐根を行い、万座毛指定地内からシバを移植した。

9 銃砲刀剣類の登録

令和6年度は、令和6年12月20日（金）に登録審査会を行い、新規登録を行った。

(1) 令和6年度の新規登録

区分	種別	申請件数	登録件数
刀剣類	たち	0	0
	刀	7	6
	わきざし	5	4
	短刀	5	4
	やり	0	0
	なぎなた	0	0
古式銃砲	火縄銃	0	0
	その他の古式銃砲	0	0
合計		17	14

10 郷土文化保護育成

(1) 沖縄県立埋蔵文化財センター事業

① 常設展示

ア 常設展示室

常設展示室は、10のテーマに沿ってコーナー展示をしており、これまでの発掘調査の成果をもとに再現した「2,000年前の琉球のムラ」のジオラマ（模型）や当時の食べ物を復元した「琉球御膳」、埋葬の様子がわかる「石棺墓の半截模型」を設置している。

イ 体験学習室

考古学の研究方法の一つである型式学による斧の形の移り変わりや、さまざまな土器のレプリカを通した体験学習ができる。また、発掘調査の集大成である調査報告書を作成するまでの出土遺物の整理（注記、実測、復元作業等）方法を学ぶことができる。

② 企画展示

ア 令和6年度企画展一覧

企画展名	開催期間	会場
発掘調査速報2024	令和6年7月17日～8月17日	企画展示室
史跡 円覚寺跡－発掘調査と整備－	令和6年10月16日～11月17日	企画展示室
首里城 京の内跡出土品展「金属製品とガラス製品からみる京の内」	令和7年1月21日～3月2日	企画展示室

③ 普及活動

ア 文化講座

第 98 回文化講座「発掘調査速報 2024」

日 時：令和 6 年 7 月 28 日（日）

関連講座「史跡 円覚寺跡－発掘調査と整備－」

日 時：令和 6 年 10 月 27 日（日）

第 99 回文化講座「首里城跡 金属製品とガラス製品からみる『京の内』」

日 時：令和 7 年 2 月 16 日（日）

第 100 回文化講座「今後の沖縄県の文化財保護行政の展望について－史跡
名勝を中心に－」

日 時：令和 7 年 3 月 2 日（日）

イ 体験学習

夏休み体験学習「土器作り」

日 時：令和 6 年 8 月 4 日（日）、9 月 15 日（日）

参加者：小学 5 年生から高校生

第3節 史料編集事業

沖縄県の先史から現代までの歴史を扱う「新沖縄県史」の編集・刊行等を行うとともに、沖縄と中国・東南アジア・朝鮮等との交流の歴史を示す第一級の資料である「歴代宝案」の校訂本及び訳注本の編集・刊行等を行っている。

新沖縄県史編集事業は平成5年度にスタートし、編集基本計画(平成27年最終改正)に基づいて、史料調査を行うとともに、各論編・図説編・資料編・概説書・ビジュアル版等の企画・編集・刊行業務を進めている。

歴代宝案編集事業は平成元年度にスタートし、刊行計画に基づき校訂本及び訳注本の刊行その他関連資料の編集・刊行業務を行っている。

平成24年度からは沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)を活用し、「琉球王国外交文書等の編集刊行及びデジタル化事業」により「歴代宝案」の編集・刊行業務を進めている。また、同交付金を活用し、平成28年度から「近代沖縄史料デジタル化事業」を行っており、沖縄戦で焼失した近代沖縄の史料の収集と保存・継承及び利活用を図ることを目的にインターネット公開の準備を進めている。

1 編集委員会

(1) 新沖縄県史

① 新沖縄県史編集委員会

◎印は会長、○印は副会長

〔任期：令和4年6月1日～令和6年5月31日〕

〔任期：令和6年6月1日～令和8年5月31日〕

- | | |
|-------------|----------------------|
| ◎ 宮 城 晴 美 | 元那覇市歴史博物館主幹 |
| ○ 豊 見 山 和 行 | 琉球大学名誉教授 |
| 赤 嶺 政 信 | 琉球大学名誉教授 |
| 狩 俣 繁 久 | 琉球大学名誉教授 |
| 久 万 田 晋 | 沖縄県立芸術大学芸術文化研究所長(教授) |
| 近 藤 健 一 郎 | 北海道大学大学院教授 |
| 里 井 洋 一 | 沖縄県立博物館・美術館長 |
| 高 良 倉 吉 | 琉球大学名誉教授 |
| 田 名 真 之 | 前沖縄県立博物館・美術館長 |
| 鳥 山 淳 | 琉球大学教授 |
| 波 照 間 永 吉 | 名桜大学大学院教授 |
| 比 嘉 悦 子 | 前沖縄県文化財保護審議会委員 |
| 前 城 淳 子 | 琉球大学教授 |
| 前 泊 博 盛 | 沖縄国際大学教授 |
| 吉 浜 忍 | 元沖縄国際大学教授 ※令和6年8月逝去 |

② 新沖縄県史専門部会

◎印は部会長、○印は副部会長

ア 刊行計画検討専門部会

〔任期：令和4年6月1日～令和6年5月31日〕

〔任期：令和6年6月1日～令和8年5月31日〕

- ◎ 宮 城 晴 美 元那覇市歴史博物館主幹
- 豊 見 山 和 行 琉球大学名誉教授
- 里 井 洋 一 沖縄県立博物館・美術館長
- 高 良 倉 吉 琉球大学名誉教授
- 吉 浜 忍 元沖縄国際大学教授 ※令和6年8月逝去

イ 各論編 言語部会

〔任期：令和4年8月10日～令和6年8月9日〕

〔任期：令和6年8月10日～令和8年8月9日〕

*の委員は令和4年6月1日～令和8年5月31日

- ◎ 狩 俣 繁 久* 琉球大学名誉教授
- 仲 原 穰 琉球大学・名城大学・沖縄国際大学等非常勤講師
- 下 地 賀 代 子 沖縄国際大学教授
- 下 地 理 則 九州大学文学部教授
- 當 山 奈 那 琉球大学准教授

ウ 各論編 芸能部会

〔任期：令和4年10月1日～令和6年9月30日〕

〔任期：令和6年10月1日～令和8年9月30日〕

*の委員は令和4年6月1日～令和8年5月31日

- ◎ 比 嘉 悦 子* 前沖縄県文化財保護審議会委員
- 久 万 田 晋* 沖縄県立芸術大学芸術文化研究所長（教授）
- 金 城 厚 沖縄県立芸術大学名誉教授
- 鈴 木 耕 太 沖縄県立芸術大学准教授
- 三 島 わ か な 沖縄県立芸術大学非常勤講師

エ 図説編 近現代

〔任期：令和7年2月20日～令和9年2月19日〕

*の委員は令和7年2月20日～令和8年5月31日

- ◎ 里 井 洋 一 * 沖縄県立博物館・美術館長
- 萩 尾 俊 章 沖縄民俗学会会長
- 新 城 和 博 有限会社ボーダーインク編集
- 納 富 香 織 公立学校教諭
- 前 田 勇 樹 琉球大学附属図書館職員

(2) 歴代宝案

① 歴代宝案編集委員会

◎印は委員長、○印は副委員長

〔任期：令和5年10月1日～令和7年9月30日〕

- | | |
|-----------|--------------------------|
| ◎ 上 里 賢 一 | 琉球大学名誉教授 |
| ○ 都 築 晶 子 | 龍谷大学名誉教授 |
| 赤 嶺 守 | 名桜大学大学院特任教授 |
| 麻 生 伸 一 | 琉球大学教授 |
| 金 城 正 篤 | 琉球大学名誉教授 |
| 高 良 倉 吉 | 琉球大学名誉教授 |
| 田 名 真 之 | 前沖縄県立博物館・美術館長 |
| 富 田 千 夏 | 琉球大学附属図書館情報サービス課サービス企画係長 |
| 豊見山 和 行 | 琉球大学名誉教授 |
| 濱 下 武 志 | (公財) 東洋文庫研究部長 |
| 渡 辺 美 季 | 東京大学大学院教授 |

② 歴代宝案編集委員会（作業部会）

◎印は部会長、○印は副部会長

〔任期：令和5年10月1日～令和7年9月30日〕

- | | |
|-----------|--------------------------|
| ◎ 田 名 真 之 | 沖縄県立博物館・美術館長 |
| ○ 赤 嶺 守 | 名桜大学大学院特任教授 |
| 麻 生 伸 一 | 琉球大学教授 |
| 上 里 賢 一 | 琉球大学名誉教授 |
| 金 城 正 篤 | 琉球大学名誉教授 |
| 高 良 倉 吉 | 琉球大学名誉教授 |
| 富 田 千 夏 | 琉球大学附属図書館情報サービス課サービス企画係長 |
| 豊見山 和 行 | 琉球大学名誉教授 |

2 委員会の状況

(1) 新沖縄県史

① 新沖縄県史編集委員会（場所：沖縄県公文書館会議室）

日時：令和7年2月4日（火）10:00～12:00

内容：第4次刊行計画策定スケジュールについて

全体的な刊行計画について

第4次刊行計画で取扱う題号および冊数について

② 新沖縄県史編集専門部会

ア 新沖縄県史刊行計画検討専門部会（場所：沖縄県公文書館会議室）

第1回 日時：令和6年7月31日（水）10:00～12:00

内容：令和5年度編集委員会、令和6年度各部会進捗等の報告

県史刊行巻および第4次刊行計画にかかる審議

第2回 日時：令和6年12月4日（水）14:00～16:00

内容：県史刊行巻および第4次刊行計画にかかる審議

令和6年度新沖縄県史編集委員会の内容及び進め方にかかる審議

イ 各論編 言語専門部会

第1回 日時：令和6年4月25日（木） 14:30～17:00 Web 会議

内容：言語スケジュールの確認、令和5年度進捗状況の報告

第2回 日時：令和6年6月13日（木） 14:30～17:00 Web 会議

内容：令和6・7年度執筆者最終確認

目次順・目次項目名の変更について

査読者について・原稿査読等

第3回 日時：令和6年8月29日（木） 13:30～17:00 Web 会議

内容：目次順・項目名変更を執筆者へメールにて送信確認、原稿査読

第4回 日時：令和6年12月19日（木） 13:30～17:30 Web 会議

内容：令和7年度言語部会年間計画の確認（日程・査読原稿・査読者について）

ウ 各論編 芸能専門部会（場所：沖縄県公文書館会議室）

第1回 日時：令和6年8月5日（月） 13:30～15:30

内容：構成案の検討、執筆者候補の検討

第2回 日時：令和6年12月25日（水） 13:30～15:30

内容：目次・頁数の検討、執筆者候補の検討、モデル原稿の検討

第3回 日時：令和7年3月11日（火） 13:30～15:30

内容：目次、執筆者の検討、執筆依頼の方法について

エ 図説編 近現代専門部会（場所：沖縄県公文書館会議室）

第1回 日時：令和7年2月20日（木） 14:00～17:00

内容：委嘱状交付、部会長・副部会長選出、コンセプトの検討等

(2) 歴代宝案

① 歴代宝案編集委員会 （場所：沖縄県公文書館会議室）

日時：令和7年3月6日（木） 14:00～17:00

内容：歴代宝案編集基本計画（第四次刊行計画）諮問

歴代宝案編集基本計画(第四次刊行計画)改訂にむけて

「辞典」編集の基本方針について

② 歴代宝案編集委員会作業部会 （場所：沖縄県公文書館会議室）

第1回 日時：令和6年8月30日（金） 14:00～16:00

内容：歴代宝案編集基本計画(第四次刊行計画)改訂について

第2回 日時：令和6年11月8日（金） 14:00～17:00

内容：「辞典」編集にあたっての基本方針について

档案馆参考人報告

3 令和6年度刊行物・史料調査等

(1) 令和6年度刊行物一覧

- ① 『沖縄県史だより』第34号（A4判、8頁、1,000部）
- ② 『沖縄史料編集紀要』第48号（B5判、127頁、600部）

(2) 史料調査収集事業及び交流事業

① 交流事業（歴代宝案）

中国第一歴史檔案館より参考人招聘

② 琉球王国の交流史に関する史料調査収集事業（沖縄振興特別推進交付金事業）

ア 国外史料調査

調査目的：琉球王国交流史に関する史料調査

調査期間：令和7年3月17日（月）～3月20日（木）

調査場所：中央研究院歴史語言研究所 傅斯年図書館、明清檔案工作室

概要：内閣大庫中の琉球国王の表文・奏本（満漢合璧）の原本調査ならびにデジタル公開資料の複写収集

成果：内閣大庫中の琉球関係檔案 収集資料29枚

（内訳）○琉球国王印（2枚）、表文1件（10枚）、奏本1件（8枚）

○礼部騰黄檔案3件（9枚）

原本確認調査21件

（内訳）○表文13件（うち満漢合璧4件）

○奏本8件（うち満漢合璧1件）

イ 国内史料調査

調査目的：琉球王国交流史に関する史料調査

調査期間：令和7年3月17日（月）～3月19日（水）

調査場所：京都府立京都学・歴彩館、前田土佐守家資料館

調査員：都築晶子（龍谷大学名誉教授）・渡辺美季（東京大学大学院教授）

麻生清香（主任）・漢那敬子（史料編集業務員）

概要：山本読書室資料（歴彩館寄託資料）、前田土佐守家資料館所蔵の琉球関係文書の原本調査ならびに複写収集。

成果：京都学・歴彩館にて山本読書室資料の琉球関係史料6点を閲覧、うち1点

「琉球仏蘭西贈答記」（道光24年4月）を複写収集

前田土佐守家資料館にて、琉球関係文書2点を閲覧、複写収集（撮影）

○琉球尚貞世孫尚益継目願付福州布政司江差遣候上表并咨文写

○福州布政司より琉球尚益継目願之返答写

③ 歴史資料のデジタル化（沖縄振興特別推進交付金事業）

琉球王国交流史料のデジタル化774件（テキスト化文字数50.4万字）

④ 近代沖縄史料のデジタル化（沖縄振興特別推進交付金事業）

那覇市歴史博物館、沖縄県立図書館、沖縄県立博物館・美術館、教育庁文化財課が所蔵する戦前沖縄の新聞のデジタル化（266コマ）